

うるま市

shakyo

社協だより

No.35

【2023 年 11 月 発行】

= 編集・発行 =

社会福祉法人

うるま市社会福祉協議会

T E L : 098-973-5459

F A X : 098-974-5306

ホームページ : uruma-shakyo.net

2023 うるまキッズ 体験型サマースクール開催!



令和 5 年 8 月 14 日・8 月 16 日の 2 日間、『2023 うるまキッズ体験型サマースクール』を開催し（共催：NPO 法人まくとぅー）、市内の小中学生 27 名の子ども達が参加しました。

1 日目は、具志川消防署を見学した後、健康福祉センターうるみんで、地域防災や災害、環境美化、伝統文化（ハーリー）について学びました。お昼は、陸上自衛隊勝連分屯地の皆さんにご協力いただき、沖縄そばの炊き出しをしていただきました。

2 日目は、平敷屋漁港でのハーリー体験や、うるま市特産のもずくについてのお話を聞く事ができ、参加した子ども達は、「災害が起きる前に準備をしておく」「海の生き物のためにプラスチックや色々なゴミをポイ捨てしない」「沖縄の文化（ハーリー）について学ぶことができて良かった」など多くの学びがあり、子ども達にとって夏休みの貴重な体験となりました。

また、9 月 18 日には神奈川県で開催された『ぼうさいこくたい 2023』にオンラインで参加し、うるま市の子ども達がサマースクールで学んだことを全国に発信しました！

**福祉情報をイロイロ
発信しています！**

フェイスブック
や LINE、
Instagram を
行っています。
下記からアクセ
スできますので
ご覧ください。



『ぼうさいこくたい子ども会議 2023』での発表の様子は
こちらの QR コードを読み取るとご覧になれます。📱



「社協だより」は、赤い羽根共同金配分金を活用しております。

社協会長就任あいさつ

うるま市社会福祉協議会会長 名護 正輝



市民の皆様には平素から、うるま市社会福祉協議会の活動にご理解とご協力を賜り深く御礼申し上げます。私は、前榮門忠光会長の後任として令和5年6月21日の理事会で選任され会長の要職を拝命いたしました。

本会は、地域共生社会の実現のため、行政計画と一体的に策定した第4次うるま市地域福祉活動計画の「誰もが共に支えあう“いーやんべー”のまちづくり」の基本理念に基づく福祉教育や地域で支えあう仕組みづくり、多様な住民の課題に対応する総合相談支援体制の充実を目指して、「和顔愛語」の精神をモットーに役職員一丸となって邁進してまいります。

結びに、うるま市社会福祉協議会の円滑な運営と地域福祉推進のため、専心努力をいたす所存でございますので、前会長の榮門忠光氏と同様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。まずは、略儀ながら書中をもって就任のご挨拶を申し上げます。

うるま市福祉のお仕事・就活応援フェア

～行ったら分かった 福祉のおもしろさ！～

令和5年8月26日、『うるま市福祉のお仕事・就活応援フェア』をうるま市生涯学習・文化振興センターゆらてくで開催しました。このイベントは、市内の社会福祉法人でつくるネットワーク連絡会をきっかけに見えてきた「福祉現場の人手不足の課題」と「生活困窮や子どもの貧困といった社会的課題」に双方向から取り組むことを目的とするもので、今回で3回目の開催となりました。

当日は、市内社会福祉法人（8か所）の求人情報や仕事内容などについての紹介・就職相談ブース以外にも、適職診断やファイナンシャルプランナーによる出張相談、占いコーナー、フードパントリーも実施しました。また、広く市民の皆さまに福祉のお仕事とその魅力に触れていただく機会として、福祉の現場で働いている方によるライブパフォーマンスや座談会トークなどのステージイベントも行われ盛り上がりしました！



URUMA 夏のフードドライブキャンペーン

～もったいないをありがとうへ～



フードドライブ強化期間として、令和5年7月24日から9月8日までの間、「URUMA 夏のフードドライブキャンペーン」を実施しました。このキャンペーンは、学校給食がなくなる夏休みの間食べる物に困る子ども達やその世帯を応援するもので、キャンペーン期間中、ご賛同いただいた市内11か所の社会福祉法人やうるま市役所本庁にフードボックスを設置して、市民の皆様からの食料寄贈の受付を行いました。

また、うるま市認定こども園園長会では、各こども園に協力を呼びかけ、20か所の認定こども園からたくさんの食料等をいただくことができました。

キャンペーン期間中に集まった食料等は、総量585kg（なんと！子ゾウ約2頭分と同じ重さです🐘🐘）皆様からいただいた食料は、一時的に食料を必要とする世帯へお届けいたしました。

たくさんの皆様の温かいご支援・ご協力、心より感謝申し上げます。



キャンペーン開始式（7/24）
協力社会福祉法人証交付



うるま市内認定こども園
食料等寄贈式



保育園にもフードBOXを設置

「社協だより」は、赤い羽根共同金配分金を活用しております。

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、本会は「第4次うるま市地域福祉活動計画」及び「令和4年度事業計画」に基づき、地域福祉を推進する各事業に取り組みました。また、行政の「第4次うるま市地域福祉計画」と一体的に取り組む「第4次地域福祉活動計画」に基づき、各種事業を推進しました。

■ 実施事業（主な事業の抜粋）

① 相談支援の充実と福祉教育・小地域福祉活動の強化・推進活動事業

- (1) ふれあい総合相談支援事業(延べ相談件数2,859件、ケース検討会議127回)
- (2) 生活福祉資金貸付事務事業(通常貸付424件、特例貸付2,018件)
- (3) 福祉金庫貸付事業(17件)
- (4) 権利擁護センター事業・日常生活自立支援事業(78名、7,932件)
- (5) 緊急預かり支援事業(20名、30件)
- (6) 障害者相談支援事業(延べ相談件数1,344件)
- (7) 障害者地域活動支援センター事業(10名/1日、3,389件)
- (8) 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業(192名)
- (9) ボランティアセンター事業(96団体登録、個人141名登録、フードドライブ85件寄贈、日常生活品13件寄贈、相談件数215件、ボランティア依頼37件、斡旋525名)
- (10) ボランティア育成活動(福祉学習22校、延べ75回、ボランティア体験中止、団体助成7件)
- (11) 地域づくり支援事業(出前講座4地区、団体との事業実施401回)
- (12) 生活支援体制整備事業(各種協議体支援等延べ2,398件)



② 児童福祉・老人福祉・障害者(児)福祉・母子父子福祉・福祉団体育成活動事業

・児童福祉週間イベント ・こいのぼり掲揚式による啓発活動 ・子どもの居場所ネットワーク連絡会 ・感謝の集い ・生きがい活動支援通所事業(地域型) ・ミニデイ推進員ふれあい交流会 ・ふれあいコール事業 ・介護保険事業 ・障害者社会参加促進事業 ・一人親世帯等新入学児童激励事業の実施 ・福祉団体育成活動支援(助成)

③ 災害時の支援体制づくりの推進

災害時支援体制の整備(災害時用ポータブル発電機購入、整備)

④ その他組織体制の整備と財政基盤の強化等

・赤い羽根 ・歳末たすけあい募金配分事業 ・与那城社会福祉センターの管理運営 ・うるま市「福祉のお仕事・就活応援フェア」 ・社会福祉法人ネットワーク連絡会 ・生活困窮世帯への食料支援

- (1) 理事会 3回、評議員会 3回
- (2) 法人機構改革検討委員会(事務局整理・福祉バス運営・通所介護事業所検討部会) 3回
- (3) 戸別会員加入13,327世帯、賛助会員462人、団体会員40団体、特別会員108社
- (4) 寄附件数53件
- (5) 共同募金委員会2回開催・地区推進委員会の開催(4地区)
- (6) 募金実績額 ①赤い羽根13,699,118円(816件) ②歳末たすけ合い6,231,253円(231件)

令和4年度 うるま市社会福祉協議会 資金収支決算書

収入の部	勘定科目	決算額(円)
	会費収入	8,109,880
	寄附金収入	4,998,672
	経常経費補助金収入	139,157,374
	受託金収入	107,605,301
	貸付事業収入	380,500
	事業収入	1,160,738
	介護保険事業収入	48,763,416
	障害福祉サービス等事業収入	9,355,080
	受取利息配当金収入	2,956
	その他の収入	2,418,423
	積立資産取崩収入	9,217,000
	前期末支払資金残高	44,912,209
	①収入の部合計	376,081,549

支出の部	勘定科目	決算額(円)
	人件費支出	265,744,452
	事業費支出	35,468,394
	事務費支出	23,659,041
	利用者負担軽減額	8,988
	貸付事業支出	573,500
	助成金支出	14,693,837
	負担金支出	604,092
	固定資産取得支出	343,200
	積立資産支出	1,238,160
	その他の活動による支出	6,857,040
	②支出の部合計	349,190,704
	①-②決算額	26,890,845

「社協だより」は、赤い羽根共同金配分金を活用しております。

高齢者や障がいのある方が、 安心して生活するためのお手伝いをしませんか



令和5年12月7日(木)、12月8日(金)に、日常生活自立支援事業の生活支援員になるための養成講座を開催します。

今回は、**勝連・与那城**地区で活動できる方を重点的に募集しています。

詳しくは、→
QRコードから
アクセス



■ 生活支援員とは？ ～地域の支え合い活動としてぜひご協力をお願いいたします～

高齢者や障がいのある方がご本人だけで判断することが難しい場合に地域で安心して生活できるようお手伝いしていただく役割です。資格などは特に必要ありません。社会福祉協議会の専門員が活動のサポートをいたします。

活動頻度：1ヶ月に1～2回、1時間程度の活動です。

■ 日常生活自立支援事業とは？ ※高齢者や障がいのある方が対象です。

自分の判断能力に不安があるために、福祉サービス利用の手続きの方法が分からなかったり、預貯金の出し入れなどでお困りの方を対象に福祉サービスの手続きや金銭管理支援を行います。

〈お問い合わせ〉うるま市権利擁護センター TEL：098-973-6549

2023年度 うるま市 福祉まつり

11月18日(土) 9:30～17:00

うるま市健康福祉センター
うるみん

遊びに
きてね!



詳細は、ホームページをご覧ください。

子どもの居場所活動資金 サポーター募集! 子ども居場所応援募金が始まります

うるま市共同募金委員会 × 株式会社沖縄銀行
令和5年11月1日～令和6年3月20日

昨年度からスタートしました「子ども居場所応援募金」令和4年度は、目標額80万円のところ実績106万円あまりの募金が集まりました。皆様の心温まるご協力本当にありがとうございました。

今年も、(株)沖縄銀行にご協力をいただき、『おきぎん Smart』によるスマートフォンのアプリでの募金を実施いたします。集まった募金は、子どもの居場所へ寄付され、自治会等の身近な地域で、子どもたちの育ちを応援する活動費として活用されます。多くの皆様のご協力よろしくお願いいたします。

うるま市共同募金委員会：098-973-5459

ご寄附ありがとうございます 令和5年6月から令和5年9月受付まで (順不同・敬称略)

香典返し	御芳名	金額	故人名
	ま え だ きくえ 真栄田 菊江	100,000	ま え だ ひろし 真栄田 博
	まつ の すえこ 松野 末子	50,000	まつ の よしお 松野 義雄
	そ げん ひでこ 祖堅 秀子	50,000	そ げん しゅうえい 祖堅 正栄

指定寄附	御芳名	金額	使 途
	うえむら さとし 上村 哲	100,000	赤ちゃんのために
	わいずびー ふいつとねず じむ Ysbee FITNESS GYM	27,500	子供の貧困
	ひがしの 大空 ともこ ひがしの大空こども園	35,398	フードバンク
	き ゃ ん ひでこ 喜屋武 秀子	50,000	子供達の活動支援
	く し かわ とも かい 具志川なつメロ友の会	408,800	車輦購入

一般寄附	御芳名	金額	使 途
	あ は こん つねお 阿波根 常雄	100,000	社会福祉事業として
	う る ま か ようとも かい うるま歌謡友の会	800,000	社会福祉事業として
	た く し しげみつ 澤峴 繁光	3,878	社会福祉事業として
	あ は こん しゅうこう 阿波根 昌興	100,000	社会福祉事業として
	かぶ さいしげんか (株)バイオマス再資源化センター	300,000	社会福祉事業として



具志川なつメロ友の会 様



うるま歌謡友の会 様



Ysbee FITNESS GYM 様

「社協だより」は、赤い羽根共同金配分金を活用しております。